

天びん Secura Quintix Practum シリーズとパソコンの接続 補足説明書

ザルトリウス・ジャパン株式会社
技術サービスセンター

本補足説明書は Secura Quintix Practum シリーズ天びんとパソコン(PC)の接続方法を接続ケーブル別に解説しています。

1、Secura Quintix Practum シリーズ天びんを YCC03-D09 (USB == RS232 9pin)で PC と接続し、通信ソフトでのデータ転送の設定となります。

(1) 天びんの設定

- ① 天びん表示部メニューキーをタッチ ⇒ 設定 ⇒ USB ポート ⇒ デバイス/プロトコル ⇒ USB-RS232 SBI を選びます。
- ② メニューキー ⇒ 設定 ⇒ USB ポート ⇒ RS232 校正 画面で通信設定を PC の通信ソフトに合わせます。

例) 通信ソフト「ザルトイン」で使用する場合

ボーレート 1200, データビット 7ビット, パリティ 奇数, ストップビット 1ビット,
ハンドシェイク ハードウェア の設定をします。

2、Secura Quintix Practum シリーズ天びんを YCC04-D09 (USB == USB) で PC と接続し、通信ソフトでのデータ転送の設定となります。

(1) 天びんの設定

- ① 天びん表示部メニューキーをタッチ ⇒ 設定 ⇒ USB ポート ⇒ デバイスプロトコル ⇒ PC-SBI に設定します。
- もし、PC 画面に「新しいハードウェアが見つかりました」というウイザードが表示された場合、キャンセルボタンをクリックしてウイザードを閉じます。

(2) ドライバソフトのインストール:

- ① メニュー ⇒ 設定 ⇒ 追加設定 ⇒ USB 記憶装置 ⇒ 接続 で、PC の「コンピュータ」画面にリムーバルディスクが表示されます。リムーバルディスクを開き、Driver フォルダを開きます。
- ② OS が Windows XP, Vista, 7, 8 / 8.1, 10 の場合は、「Win XP and Newer」を開きます。
ファイル Install Driver.exe をダブルクリックして開きます。
デバイスドライバーのインストールが始まります。
- ③ インストールが完了したらリムーバルディスクを閉じるため一旦 USB ケーブルを PC から取り外します。天びんが USB 記憶装置と認識されているのを閉じた後、再度 USB ケーブルを PC につなぎます。

(3) PC での確認

- ① PC でデバイスマネージャを開き(注1)、ポート(COM と LPT)にある USB serial port が COM ポート番号を確認します。 ギャルトイン等の通信ソフトの COM ポート番号をデバイスマネージャで確認した番号に設定します。

ボーレート、パリティなど通信設定は変更不要です。(注2)

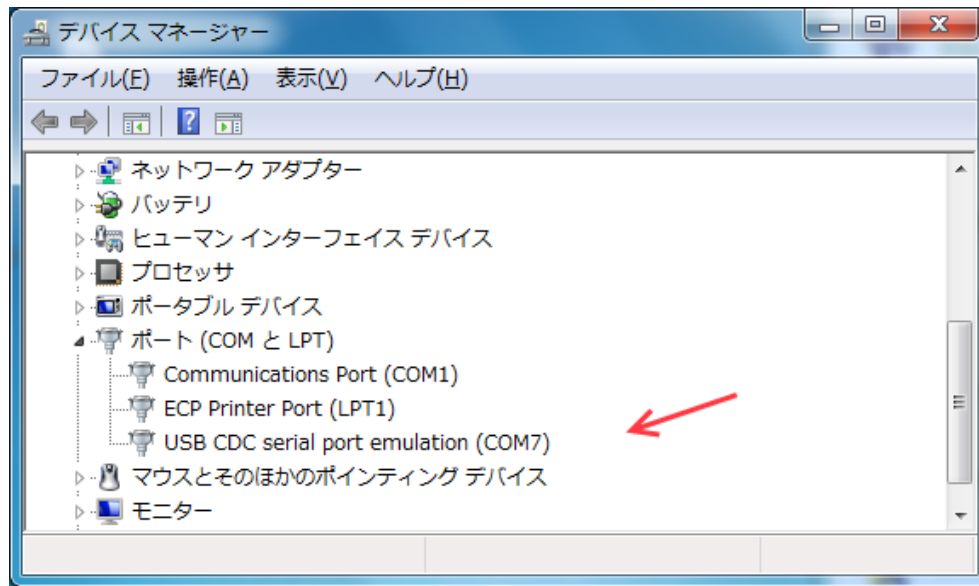


図1. Windows7 デバイスマネージャでの確認例 上図では赤矢印の行で COM7 と認識されています。

注1) デバイスマネージャの開き方

デバイスマネージャは Windows に付属するアプリケーションです。

Windows XP , Windows Vista , Windows 7 , Windows 8 各バージョンによる違い、画面設定の違いで若干の違いはありますが、どれも基本的に同じです。

例1: コンピュータ(マイコンピュータ)から開く方法

デスクトップ画面の「コンピュータ」アイコンを右クリック ⇒ プロパティをクリック ⇒ システムのプロパティを表示 ⇒ ハードウェア ⇒ 「デバイスマネージャ」をクリックします。

例2: コントロールパネルから開く方法

スタートボタン ⇒ コントロールパネル ⇒ 「デバイスマネージャ」をクリックします。

企業内ネットワーク用に仕様変更された PC ではデバイスマネージャを開くことができない場合があります。

注2) RS232C ケーブルで接続の場合は天びんと PC、お互いの通信設定を合わせますが、YCC04-D09 は通信設定を合わせる必要はありません。 初期設定のままで動作します。

- 3、Secura Quintix Practum シリーズ天びんを YCC04-D09 (USB == USB) で PC と接続し、通信ソフトは使用しません。キーボードインターフェイスとして Excel 等に重量値を入力する方法となります。

天びんのバージョンにより使用法が一部異なります。バージョンの確認は以下となります。



▶ 天びん表示部のメニューアイコンをタッチ ⇒ 設定 ⇒ デバイス情報 で確認できます。
Version APC: の情報確認後はひょう量状態に戻ってください。

(1) 天びんデバイス情報 Version APC: 01-70-02.14 以降の場合の天びん設定。

(Version APC: 01-70-02.12 以前の場合は(注3)も参照ください。)

- ① 天びんとパソコンを YCC04-D09 ケーブルで接続します。
- ② 天びん画面のメニューにタッチ⇒設定(レンチのアイコン)をタッチ⇒USB ポートをタッチ、デバイス/プロトコルをタッチ⇒PC スプレッドシートフォーマットを選びチェックマークをタッチします。
- ③ 「>」(戻る)をタッチ、メニュー画面でひょう量アイコンをタッチしてひょう量状態に戻ります。

PC スプレッドシートフォーマットによる入力は Excel 等への入力に適した入力方法で、パソコンのキーボードからの入力と同様となります。

(2) 日本語 Windows PC での重量値入力方法

- ① 天びん画面のメニューキーにタッチ⇒設定をタッチ⇒USB ポートをタッチ、デバイス/プロトコルをタッチ⇒PC スプレッドシートフォーマットを選び出力形式は「数字のみ」をタッチします。
- ② USB ポート⇒「キーボードのエミュレーション」⇒「ユニバーサル(NumLock オン)」をタッチします。「<」(戻る)をタッチ、ひょう量状態へ戻ります。
- ③ Excel を開き、パソコン・キーボードの NumLock キーを押して NumLock をオンにします。NumLock オンにしていない場合、Excel シートの列方向へ飛び石のようにデータが入力されます。詳細は(注4)を参照してください。
- ④ 天びん表示部にある印字アイコンをタッチすると重量値が Excel シートに入力されます。

注3) 天びんデバイス情報 Version APC: 01-70-02.12 以前の場合

- ① USB-USB ケーブルでの接続は上記(1)同様です。
- ② 日本語 Windows PC で重量値の入力方法は上記(2)の③で Excel を開き、PC の IME より、言語の設定を JP(日本語)から EN(英語)へ変更します。最初に使用する場合は言語バーに英語を追加します。
- ③ 天びん表示部のツールバーにある印字アイコンをタッチすると重量値が Excel シートに入力されます。A 列がアクティブ・セルの場合、A 列に文字データ、B 列に ID コード、C 列に重量値、D 列に重量単位の入力となります。



言語設定を英語に変更しない場合 +/- の符号が文字化け入力されます。

注4) Excel から NumLock 状態を確認する方法

Excel 画面に NumLock の状態を表示する機能がありますが、初期設定は表示しない設定となっています。Excel2007 以降で表示させる方法は、

- ① Excel ワークシート表示枠下(図2の矢印先)の部分をクリックします。
- ② ステータスバーのユーザー設定ウィンドウが表示されます。(図1)
- ③ 項目 NumLock をクリックして選択します。

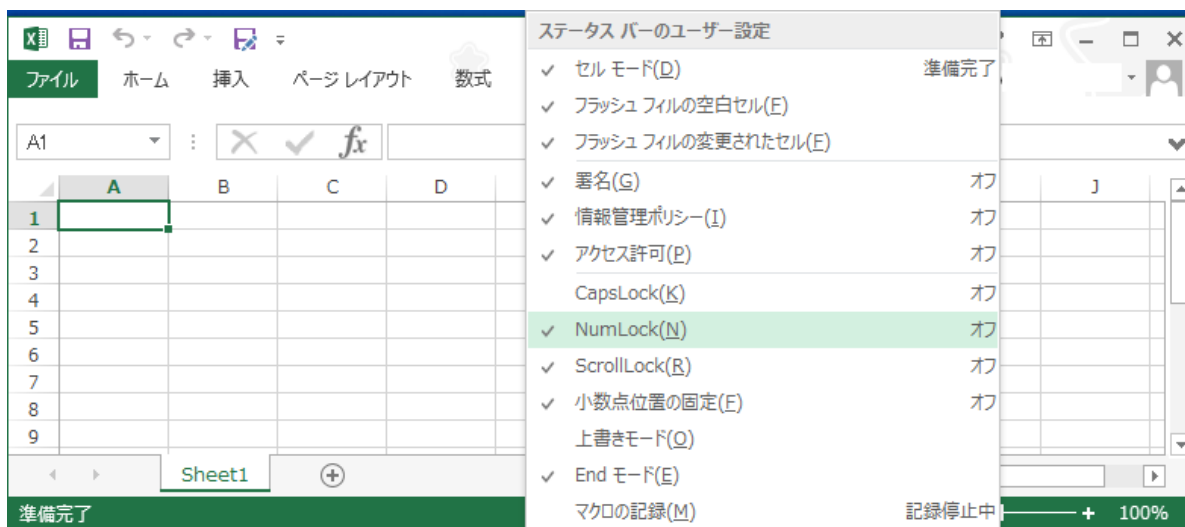


図1 ステータスバーを右クリック時の表示



図2 NUMLOCK 表示状態

NumLock キーがオンになっていると図2赤矢印のようにステータスバーに表示されます。
その他、詳細設定は天びんユーザーマニュアルを参照してください。